

県内学校ミニ・ニュース (柏市立手賀西小学校)

本校は、令和3年度から柏市教育委員会よりGIGAスクールの研究指定を受け、先行的に全校で端末の持ち帰りや各教科での積極的な活用を進めるなど、児童も教員も一人一台端末を活用することが当たり前の環境になっています。授業だけに留まらず、校外学習や避難訓練などの学校行事、校内研修や業務改善など、効率的・効果的だと思えば、「いつでも・だれでも・どんなことにも」活用の幅を広げるのが、手賀西小職員のチャレンジスピリッツです。

GIGA スクール元年となった昨年度の取り組みを、『手賀西小 DX 実践事例集』として全132ページの電子書籍にまとめました。本校は、学級数8（通常学級6、特別支援学級2）の小規模校ではありますが、教頭以下、授業に携わるそれぞれの教員が、主体的に工夫を重ね、117の事例を集めました。集めた事例は、手賀西小学校のホームページで公開しています。



- 各学年の実践
 - ・各教科、学級活動
 - ・学年行事 等
- 業務改善の実践
 - ・校内研修
 - ・校務活用 等



ダウンロードキー izumi541

【学習成果の共有】

生活や図工、総合的な学習等で児童が作成したスライドを、昇降口に設置したモニターで日常的に上映し、誰もが見られるようにしています。児童や保護者、来客が足を止めて、作品を鑑賞しています。



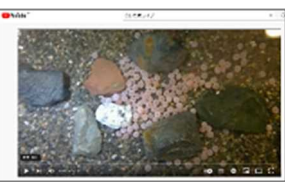
【学校行事での活用】

不審者対応訓練では、各教室と職員室をGoogle Meetで接続しました。児童の避難の様子を職員室でモニタリングし、指導・改善に生かしています。



【児童の主体的な発信】

放送委員会の児童が、年中行事に関わる映像を自ら調べて昼の放送で上映するなど、日常生活を豊かにするため、児童による主体的な活用が行われています。



【さけたまライブ配信】

学校で飼育しているサケの卵から稚魚までの成長をYouTube Liveで配信。児童が学校や家庭でいつでも観察できるようにしました。放流の様子も教頭が利根川からLive配信をして、全校でサケとのお別れをしました。